

平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年 月 日記入

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	16120
政策名(章)	第6章 彩りのある市民文化を創造します	評価担当部	企画部
基本施策名(節名)	第1節 多彩な市民文化の振興	評価担当課	文化国際課
施策名	芸術・文化をはぐくむ環境づくり	課長名	江成 朱美

1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

芸術・文化をはぐくむ環境づくりを推進するため、音楽、舞踊、演劇、美術等の芸術鑑賞や多様な文化活動の拠点となる施設の整備等を行い、市民が身近に、様々な文化にふれられ、活動に参加することのできる場の充実に努め、豊かで彩りのある市民文化を創造し、市民の文化志向の高まりをさらに広めていきます。

市民をはじめ、芸術家、文化活動団体などがホールでの活動を通じて新しい地域文化を創造・発信していく場として、橋本地域に「創造型」の文化ホールを整備しました。また、女子美術大学と文化促進協定を結び、大学美術館を開放するなど、市民が広く芸術・文化に親しめる環境づくりに取り組んでいます。

2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		1,487,270	構成事務事業に施設維持補修費、施設管理運営費を追加したため、平成17年度の決算額が大幅に増加した。
人件費		483	
市民一人あたりの事業費	2,219	2,231	
合計	1,366,949	1,487,753	

*人件費は、職員一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

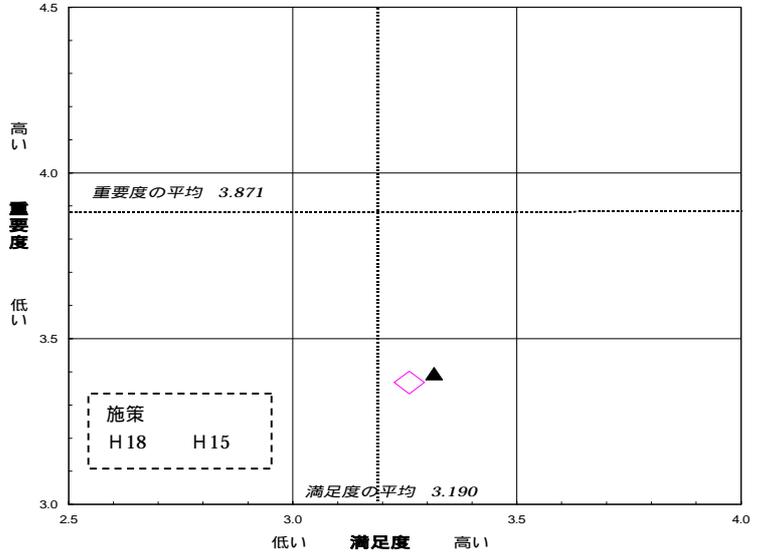
3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	新磯野音楽団体練習室の年間利用率(%)	H16利用日 / H16利用可能日 × 100	71.0(%)	H16
指標2	文化会館練習室・リハーサル室の年間利用率(%)	H16利用日 / H16利用可能日 × 100	90.7(%)	H16
指標3	社のホールはしもと練習室・音楽スタジオの年間利用率(%)	H16利用日 / H16利用可能日 × 100	91.9(%)	H16
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)	
指標1	100 / 79.4	19	100%	21	100%	文化活動の場の充実を図るため、利用率を指標とし、今後さらなる利用率の向上を目指す。	
達成率	79.4 %						
指標2	100 / 91.9	19	100%	21	100%		現状も高い利用率を維持しているが、さらなる利用率の向上を目指す。
達成率	91.9 %						
指標3	100 / 95.4	19	100%	21	100%		
達成率	95.4 %						
指標4							
達成率	#DIV/0! %						
指標5							
達成率	#DIV/0! %						

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.260で51施策の中で15番目。
 重要度は3.368で51番目である。
 改善要望度は - 0.4051で51番目である。
 年齢別にみると、満足度、重要度ともに50歳代以上で高く、40歳代で満足度がもっとも低く、30歳代で重要度がもっとも低くなっている。
 前回調査と比較すると、満足度、重要度とも施策の順位に大きな違いはみられない。
 満足度の順位では、50、60歳代で前回調査より上がり、20、30歳代、70歳以上で大幅に下がっている。
 重要度の順位では、40、50歳代で前回調査より上がっている。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠	
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4(2)1	・青少年音楽団体活動助成制度により青少年の活動を助成するなど、市民の文化活動を支援している。	
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	4(2)1	・音楽団体練習室として空き教室を活用し、市民の活動の場を提供している。	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4(2)1	・市民文化財団の自主事業のうち特に「市民参加・支援・創造事業」では、身近な場所である公民館でのコンサートや、ワークショップを通して、市民の文化意識の向上に努めている。	
合計		6	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)	1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	多様化する市民ニーズに対応した活動の支援・場の提供が必要である。
解決策	平成19年度から「市文化芸術発表・交流支援事業」を実施し市民活動を支援するとともに、場の提供に努める。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

構成事務事業は再掲事業が多く、施策の成果を示すことが難しい。今後は、施策体系、構成事務事業の見直しが必要である。	2次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

施策の重要度が低い原因を分析し、重要度向上のために何をすべきか具体的に示すこと。 市民の芸術文化への理解を深めるためには、ソフト面の事業を充実させる必要があり、効果的な手法を検討し、事業の優先順位付けに活かすこと。	3次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

